

<b>No.21</b>	<b>高度化</b>		
<b>氏名</b>	<b>川崎 敏矢</b>	<b>経営管理研究科</b>	<b>M1</b>
<b>1. 出願時のテーマ・目標を具体的に記述してください。</b>			
3回生時に立命の外部で立ち上げた学生団体でらふる。お寺を舞台にその地域の魅力を発信できるイベント等を行っており、京都では知恩院での謎解きゲームを通して京都の寺社の七不思議を全国から集まった70名のお客様に伝えたりしてきた。この背景には意外と地元の良さを知っていたり、知っていても伝えられなかったりする人は少ないのではないかと、そのような地元の魅力を知って伝えられるような世の中になれば人同士が、地域同士がより明るい関係性になれるのではないかと、そのような社会を作り出すため、学生団体でらふるの全国化を目標に掲げ川崎は今日も活動する。また、歴史の魅力を発信し、歴史が苦手な人にこそ歴史を好きになってもらう取り組みを行っている。			
<b>2. 上述のテーマ・目標を実現するために実施した計画を具体的に記述してください。</b>			
2020年5月にお寺の歴史（変遷）を伝えるオンラインイベントを開催。大阪、京都、三重、東京、神奈川等より十数名が参加。同5月に京都も魅力を伝えるオンラインイベントを開催。9月には平安時代の人々の暮らしを伝え、実際に「編つなぎ」と呼ばれる平安貴族の遊びを行い平安貴族の生活を伝えるオンラインイベントを開催。二十名ほどの方が大阪、三重、京都、和歌山から参加。このように普段オフラインで行っていたものをオンラインに切り替えて、オンラインの強みを生かし、寺社、京都の魅力を例年より多くの範囲に伝えることができた。また、活動の一環として、4月より立命館大学文学部の山崎有恒教授と暗記のイメージで中高生の時に歴史嫌いになってしまった人をターゲットに初心者でも面白く歴史を知ることができるように、歴史の魅力をしてもらいたいという願いが意気投合し、「ゆうこうちゃんねる」をYouTubeで開設。教授と学生の対談形式で構成される同チャンネルは開設から5ヶ月で800人を超えるチャンネルとなり現在も登録数が日々上昇している。12月には自身の学生団体を学生団体総選挙に出場させ、全国の学生団体1809団体中10位以内を獲得し、部門別グランプリをいただいた。現在はより人と人とを繋げるためのコミュニティスペースを4月にオープンさせるためクラウドファンディングに挑戦している。			
<b>5. 今回（今年度）の取り組みについて、今後の活動展開と展望を記述してください。</b>			
9月にパートナー（将来の社員）が合流し、2021年4月3日には自身の事務所を構えることとなった。しかしながら、自身だけの事務所ではなく、人と人がご縁で繋がり、時に助け合える関係ができる空間、横の繋がりはあるが縦の繋がりはまだまだ希薄化されている高校生、大学生、社会人の縦の繋がりを創る空間、そして誰かの居場所となれるような空間にしようとした。これを達成するためのコミュニティスペースとコワーキングスペース「てらほうす」を京都の円町二条付近にオープンさせる。そしてそのための資金を集めるためクラウドファンディング250万に3月30日まで挑戦している。皆にとつての空間を個人、企業、地域と皆で創っていきたくて思えたのが調達手段をクラウドファンディングにした理由である。このコミュニティスペースを四月以降月に300人を目標にした来客数にするのが1つの目標。そして、寺社と学生を繋ぐというものも、さらに広げ、関わりのあるお寺を2つはふやしていく。学生団体としてもさらなる飛躍を成し遂げられるような団体マネジメントを行っていく。2021年10月4日は今行っていることを法人化する予定である。そして自分自身とパートナーは養えるようにしていくのが2021年度の豊富である。			
<b>6. 今回（今年度）の取り組みは、今後の学びや進路にどのように影響しますか。</b>			
自分自身個人事業主としても個人としても多大なる成長ができた。これから経営者としてまた教育者として卒業後行っていくため人生そのものに影響してくる一年間の学びや経験であった。			
<b>7. 今回（今年度）の活動が周囲に与えた影響（社会・周囲）への貢献・還元の点で記述してください。</b>			
自身の活動は自身一人で行ったわけではない。団体のメンバーや事業パートナー、お寺の住職様やお客様皆さまのおかげさまで自身の成し遂げたいことが実現でき、その結果、イベントやYouTubeを通して誰かの笑顔にかえることがコロナ禍でもできたといえる。また、この自分自身の行いが、熱狂が周囲にも影響を及ぼし、「川崎のおかげで自分も自信がついた」と言ってもらえる人が本当に前年度以上にふえた。行動し続けたこと自身が誰かの励ましになれていた。また、立命館文学部日本史専攻や他からも動画編集などの依頼が来るまでもなり、文学部からはHPへの取材、経営管理研究科からは入試広報の取材が有り難くいただけるなど自身の活動が実績として紹介され今後の立命生にも影響を及ぼしている。友人、メンバー、依頼主、視聴者、大学関係者など多くの方に影響を及ぼしそして恩返しができるであろうことを願いたい。			

3. 個人の成長の軌跡3-1. 取り組みの過程でどのようなことがあったのか、グラフを作成してください。	
3-2. グラフで書いた☆（個人がもっとも成長したと思うポイント）では、その過程で学んだこと、気づいたことについて具体的に書いてください。	
・役割を与えることでその人のモチベーションがあがることを知った・理念やビジョンを持つことは団体にとって凄く重要であるということ（おそらく個人もまた同じ）モチベーションに凄くかかわってくる・オンラインでのイベントの仕方、ミーティングの回し方・営業力・認知とお金を払ってくれるはまた別。こちらから地道なるアプローチが必要・動画や画像で表現することの大切さやその手法・giveの大切さなど	
3-3. “今回（今年度）の取り組み”と“正課の学びや取り組み”は、どのような関連や影響（相互作用）がありましたか？	
自身が個人事業主で法人化を目指しているという中で、正課でのマーケティングや組織論等の日々学んでいることが実務において団体や学生へのマネジメントや経営面に繋がり、逆に理論だけではどうにもならないことや理想論に過ぎないことも実務面から学んだ。（結局動き出すか、行動するかのみ）であるということ	
4. 本奨学金を受給したことで、以下の項目についてどのような影響を与えたか5段階で評価してください。（該当ナンバーに○） また、併せて評価の理由も書いてください。評価例：【 1（達成できなかった） ← 3（どちらともいえない） → 5（達成できた） 】	
① 目標の達成度	5
<理由> 今年コロナ禍であったとしても成し遂げる予定だったものは全て成し遂げた自身がある。ほぼほぼ100%であるといっても過言ではない。	
② 計画の達成度	5
<理由> コロナの関係で一部計画通りにはいかなかったものの、再スケジュール組みを直ぐに行ったことで計画をコロナ禍でも達成することができた。	
③ 取り組みを通じた自己成長	5
<理由> この1年間だけでも正課と課外の両面において自己実現のために凄く成長できた自信をもっていえる。	
10. 今年度の取り組みを通じて最も身についたと思う力について、具体的に記載してください。9の設問で回答した力でも、それ以外でも構いません。	
① 身についた力	ストレス・コントロール
② ①で記述した力について具体的に説明してください	誰かから何かを言われた時に動じなくなった。それも自分のために言ってくれているのだと前向きにとらえることができるようになった。
③ なぜその力を身につけることが出来たのか、成長を手助け・促進させた要因を記載してください	学生団体のメンバーからの心温かくも厳しい指摘（6月くらいに理念、ビジョンがないことでモチベーションが下がっていることをはっきりと言われたとき）